

平成29年度

# 教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

# I 点検・評価の主旨について

## 1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

## 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、平成29年度の事務や取り組みとし、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施しました。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取しました。

## 4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、30年度の所管事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（3月）
- ②4月上旬までに、29年度の実施状況と見込みを取りまとめ、報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ③学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。また、点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ④教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。また、点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ⑤報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

# 目 次

基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成		
<b>I 点検・評価の主旨について</b>		頁
1 点検・評価の主旨		1
2 点検・評価の対象		1
3 学識経験者の知見の活用		1
4 報告書の作成		1
<b>II 点検・評価の結果について</b>		
<b>基本目標</b>		
	評価項目・内容	担当課
<b>1 信頼と安全を築く教育環境の整備充実</b>		頁
重点施策		
1 安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	教育総務課	3
2 健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		4
3 豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		5～6
4 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		7
<b>2 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開</b>		
重点施策		
1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	学校教育課 教育研究所	8～9
2 学校を核として、各地域にスクール・コミュニティの形成を図る		10
3 「おおだて型学力」の向上を目指し、実践的指導力を養成する教職員研修を実施する		11
4 時期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する		12
<b>3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援</b>		
重点施策		
1 ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 勤労青少年ホーム 女性センター	13～14
2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		15～19
3 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		20
4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		21～24
5 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		25
6 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		26
7 文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		歴史文化課 27～29
<b>4 市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充</b>		
重点施策		
1 スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	スポーツ振興課	30
2 スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		30
3 2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		31
4 大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		31
5 近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する		32
6 多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める		32

# 重点施策点検・評価表

1-1

基本目標		
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実	
重点施策		
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	担当課(館)
	① 公共施設等総合管理計画の方針を踏まえた、個別施設計画の策定	教育総務課
活動内容	学校系施設は、大規模改修が必要となる30年以上経過した施設が76%を超え、将来的な人口減少や少子化の進展を見据えた、個別施設計画により将来的な在り方を策定する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 目標であった、「個別施設計画」は、教育委員会全ての施設を対象に計画どおり策定された。 学校については、現在、学校教育環境適正化検討委員会が立ち上げられ、校舎やプール等の在り方が平成30年12月までに答申される。今後、その状況を踏まえ、個別施設計画の見直しを行う。	
課題等	学校施設の改修に文部科学省の補助金を活用するためには、策定された計画内容を充実させる必要があるため、平成30年度に改正版を策定する。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	個別施設計画は、将来どのようなニーズが発生してどのように市の動きが変わっていくかという、予測しなければならない見えない部分も含めて策定したと思うが、適切な実施に向けて努力してほしい。見直しは大変難しい作業だと思うが、学校教育環境適正化検討委員会の答申内容を踏まえて頑張っていたいただきたい。	
	② 学校改修工事等による教育環境施設の充実	教育総務課
活動内容	・建設後25年以上経過した小中学校が25校中21校と8割を超え、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額を算出し、計画的に工事を実施する。 ・大規模改修は多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)の実施を見据えて、個別施設計画を踏まえた年次計画で実施することとし、平成30年度から事業着手を可能とする。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 学校の改修・修繕については、学校要望なども考慮した上で、緊急性の判断と優先順位により学校運営に支障が出ないように対応した。PTA等からの改修要望等は、約35%の改修に留まったが、今後も早期解消に努める。 大規模な改修が必要なものは、国の補助金が充当される大規模改修事業(長寿命化)での実施に向け、補助要件内容の確認をした。来年度は、本年度作成した「個別施設計画」の内容を充実させ、補助採択要件となる予定の計画書を策定する。	
課題等	将来的な人口減少や少子化の進展が避けられず、現在の施設保有量のままでの維持管理は困難な状況にある。 しかし、地域において学校はコミュニティの要であり、少数児童生徒による授業環境のメリットもある。現在検討を進めている学校教育環境適正化検討委員会の答申を踏まえ、将来的な在り方を定める必要がある。 個別施設計画の策定は、学校適正配置計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性、今後かかる維持・更新コストなどを反映させ、市単独事業費での実施は財政状況が厳しいため、国庫補助金を活用する手法で計画する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	財政が伴うことであり、予算が潤沢でない状況から、目標を大幅に下回る評価(80%未満)に止まっていることには理解できる。改修等の要望については、子ども自体の目線につながっているかどうかの配慮も必要。人口減少、少子化など社会の推移を考えながら取り組みを進めてほしい。難儀な施策ではあるが、一つでも二つでも前進するように頑張っていたいただきたい。	

# 重点施策点検・評価表

1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 新たなスポーツ、レクリエーション施設の整備
	教育総務課
活動内容	二ツ山総合公園への幼児・児童を対象とした新たな施設整備工事の実設計、花岡総合スポーツ公園(仮称)では、市民プール代替え施設、一部先行活用施設の改修工事等を完了し、市民のスポーツ施設の確保、交流人口の増加と地域の活性化に繋げる。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>二ツ山総合公園幼児エリア整備事業については、公園整備計画に基づき、6月議会で造成工事費を補正予算措置し工事を発注した。また、休憩施設等の建物についても実設計を進め、12月議会で予算を措置し、年度内に業者と契約を締結した。 平成30年7月までに工事を完了させ、親水広場や休憩施設等は、30年夏に間に合わせて一部供用開始することが確定した。 また、30年度予算にベンチ、遊具、樹木など植栽を含む公園整備工事費を予算措置し、残る整備は30年度発注で12月までに全体エリアの整備が完了する目途が立った。</p>
課題等	<p>今後は、幼児の利用にあたって安心して安全な施設が整備されたことを周知し、有効活用されるように努める。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
学識経験者等の意見	新しい施設ができると利用者が増えることにより、利用する幼児・小学生の安全面を考える必要性が生じる。指定管理者の選定においてもそれら安全管理を考慮する必要がある。各施設整備工事は当初の計画よりも早く進められており、職員の尽力の跡が見える。今後は、施設ができたことを広く周知して、子どもたちが楽しんで育つ環境として機能することを期待したい。
	② 適切な施設補修の実施
	教育総務課
活動内容	長根山陸上競技場の公認認定に向けた改修工事、比内体育館トイレ洋式化工事等、各施設の快適性、安全性、美観等に配慮した計画的な整備・補修を実施する。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>長根山陸上競技場については、第2種公認競技場検定に向けた走路改修工事を6月に発注し、9月末で完了させた。同時に、公認認定検定も無事通過し、9月12日付けで公認競技場として継続認定された。 また、インバウンドの受け入れやスポーツ合宿の誘致促進に向け、比内体育館のトイレ洋式化工事を行った。 その他、各スポーツ施設8件の修繕・改修工事を行い、快適で安全な施設整備に努めた。</p>
課題等	<p>スポーツによる交流人口の拡大やインバウンド受け入れ施設として、トイレ洋式化や施設の充実・改修を、今後も計画的に実施する必要がある。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続</p> <p>□ 廃止検討</p> <p>□ 単年度</p>
学識経験者等の意見	陸上競技場を完成させ、公認競技場として認定されたことが何よりである。トイレの洋式化は時代の流れと思われ、これからは施設の改修は時代のすう勢に合わせて対応してほしい。

# 重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	① 市民文化会館の大規模改修事業の実施		教育総務課
	活動内容	平成20年度から年次計画で実施している文化会館大規模改修事業に外壁改修を追加し、本年度は初年度工事を実施する。同時に、駐車場不足などの残された課題があることから、新たな事業計画の策定を含め課題解決に取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 一昨年12月にタイル外壁の一部剥落事故が発生し、緊急の外壁調査と改修実施設計を発注し、年次計画に追加するとともに、本年度、全てのタイル外壁部分を改修する第一期工事を完了した。これにより、事故原因となったタイル外壁部分の安全確保が図られた。 平成30年度は、第二期工事として未改修である塗装吹付け壁の工事を予算措置した。30年10月末に完了する見込みで、このことにより建物外壁全ての改修が完了し、快適性と安心・安全性を向上させたことになる。 課題となっている駐車場不足や前広場の改修は、緑地の駐車場化や民有地空き地等の活用を再検討する。	
	課題等	第二期外壁改修工事を、貸館に極力影響の出ないように確実に実施する。 また、駐車場不足などの残された課題の解決に向け、近隣公共施設との敷地活用調整や費用対効果の検証により、取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	市民文化会館の風格を備えたままの工事は難しいと思っていたが、よく工夫して行われていた。駐車場不足については、民有地の活用にも目が向けられていて、解決に向けての選択肢の一つと考えられる。会館の利活用を潤沢にするためには駐車場問題は避けて通れないことであり、民有地活用の戦略を練りながら市民の要望に応えられるよう進めていただきたい。	
	② 中央公民館等の社会教育施設の維持管理		教育総務課
	活動内容	中央公民館渡り廊下防水工事他の実施により、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 中央公民館渡り廊下防水工事や郷土博物館非常用照明器具交換工事、釈迦内児童センター床カーペット張替え工事など、社会教育施設の良い環境整備に努めた。 また、竹村記念公園の都市公園移行に向けた施設整備工事を実施し、10月から神明児童公園として活用が開始した。 そのほか、年度中に発生し緊急性のある工事について、補正で予算を確保し年度内にすべて完了させた。	
	課題等	本年度策定された、公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用となっていることから、目的に沿った施設の整備・充実に努める。また、有効かつ活発に活用されるよう取り組む必要がある。 矢立公民館は、旧学校を転用した初めての事例となった。今後、施設統廃合による空き公共施設が増加することから、今回の事例を参考とし、有効活用に向けて積極的に既存施設を転用した利活用の導入を図る。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	年度途中に発生した予定外の工事への対応は、施設維持に対する教育総務課の積極的な姿勢が表れている。矢立公民館は旧学校を転用した活用事例となったが、これを参考に、有効活用のモデルになるようなプランを作りながら今後も進めていただきたい。なお、竹村記念公園が児童公園として利用できるようになったことを、もっとPRしても良かったのではないか。	

# 重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	③ 社会教育施設の耐震対策事業の実施
	教育総務課
活動内容	耐震性能が判明していない市民文化会館、郷土博物館の耐震調査を実施し、結果により補強工事を実施する計画を策定し、早期に工事を実施し利用者の安全を確保する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 市民文化会館及び郷土博物館が、地震による倒壊の恐れが無い耐震診断を実施した。その結果、郷土博物館が耐震性能を有していないことから、財源の国庫補助金を確保するとともに、工事費を12月補正予算で確保した。耐震補強工事を平成30年9月上旬までに完了させ、今後の利用者の安全が確保できることが確定した。
課題等	来館者への工事期間の周知と、入館料の減免、安全対策を行う。今後も積極的な活用を図る。 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	主要な施設の耐震性能の確保は、安全で安心な利活用の大前提である。このことを考えながら進めるといった基本的な方向性を堅持してほしい。国庫補助金の財源確保ができたのは、積極的な活動の成果であると思う。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用
	教育総務課
活動内容	ドームの更なる活用による交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋げるため、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、新たなイベントを創造する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長年、市議会や市民から切望されていたドームでのコンサート開催実現に努め、16年ぶりに30年5月の開催が決定した。 複数の歌手によるフェスティバル方式とすること、また、今年度導入したネーミングライツ料収入を財源とすることを議会に丁寧に説明し、併せて市民への情報発信により理解を得たことにより、関係予算を30年度当初予算に措置して、5月4日のコンサート開催が実現した。 1月23日からチケット販売を開始し、前売りは順調に推移しているが、コンサート成功に向け、関係者や議会、販売店などへの販売に努めている。
課題等	16年ぶりのコンサート開催であり、今後の継続開催の試金石となることから、成功に向け努力する。また、ネーミングライツパートナーとの連携による野球大会など、あらゆるイベントの開催を模索し、今後の新たな展開を図る。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	チケットが完売するようなイベントを市民に提供できたことを大きく評価したい。販売数の予測がつかない中で、あえて開催にチャレンジし、市民にも心の潤いを与えることができた。イベントをやることは業務の負担になることだが、市民のためにと前向きにとらえて取り組んだことで、結果を出せたと思う。

# 重点施策点検・評価表

1-4

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
4	大館の教育の理念と実践について、市民の周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確な時期に行い、協議・討議を諮り、ホームページ等で議事録を公表する。</li> <li>・総合教育会議の議事録、教育委員会点検評価の公表など、教育委員会の活動が市民に理解されるよう努める。</li> <li>・開かれた教育委員会としてより透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</li> </ul>	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページで公表し、教育委員会の活動内容の透明化を図った。 また、教育委員会の重点施策の点検・評価について、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保し、公表することにより内容充実に努めた。 さらに、ホームページを活用した施策・事業の周知を図るとともに、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めた。	
	課題等	常に最新情報の発信と、内容の整理・更新を行う。 ホームページ閲覧者に、分かりやすく利用しやすい環境とする。 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信が必要である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ホームページ作成の労力は大変だと思う。実際に教育委員会のホームページを見て、大館の教育を全国に発信しているということが分かった。大館市の教育活動が全国から注目され、リーダー的な存在となっていることを、市民として誇りに感じている。公表することは自信がないとできないものであり、自信ある教育行政の自負が感じられた。		
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		

# 重点施策点検・評価表

2-1-1

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。
	担当課(館)
	① 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成
	学校教育課 教育研究所
活動内容	第8次学力向上対策5カ年(平成26年～平成30年)4年目である。中間評価の結果を踏まえつつ、実践をさらに進める。地元企業や保護者を含めた市民へふるさとキャリア教育の理念や各校の百花繚乱作戦を情報発信し、浸透させる。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95～100%) (80～94%) (80%未満)
	おおだて型学力推進委員会を中心に、各学校・専門部が取り組み、おおだて型学力推進便り「SHINKA」にまとめ、全職員で成果と課題を共有した。 文科省や国立教育研究政策所、大学の研究員等が調査研究に入り、学び合いを核とする授業スタイル、児童生徒の学びに向かう姿勢には高い評価を得るとともに、課題も指摘していただいた。 また、他県からの視察者の声を現場に伝えることで、本市の教育の特徴や強みを明らかにし、現場の自信につなげることができた。
課題等	平成30年度は、秋田県教育委員会主催の「学力向上フォーラム」の開催市として、全小中学校の授業を全国に向けて公開する予定である。 各校がそれぞれに、自校なりのおおだて型授業(共感的・協働的な学び合い)を確立させ、成果が得られるよう、指導助言でサポートしていく。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	目標を上回る評価は適正と考える。他県からの視察者の声を伝えることにより、それが評価となり、先生方の意欲にもつながる。時報「市町村教委」掲載の教育長原稿を読んで、大館のふるさとキャリア教育についてとてもよく理解できた。「共感的・協働的な学び合い」は学習をする力の原点となるものであり、現場の職員への浸透も確かなものになっている。
	② 体力の向上と食育の推進
	学校教育課
活動内容	安心安全な学校給食の提供(長木調理場の統廃合)と食育の推進、食物アレルギー対策の充実を図る。(改訂・食物アレルギー対応マニュアルの運用)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95～100%) (80～94%) (80%未満)
	学校給食委員会、食中毒予防研修会に加え、「アレルギー対応対策委員会」を予定どおり開催した。 食物アレルギーについては、十分な配慮を呼びかけているが、事故につながりかねないケースもあり、再度、注意喚起した。自校方式の調理場(桂城・城南・長木小)の廃止に係る検討は、学校統廃合を検討する「学校教育環境適正化検討委員会」で平成30年度末までに、給食センターへの統廃合も協議することになり、結論を延期している。
課題等	調理場と給食センターの統廃合のシミュレーションのために各種資料を整え、学校教育環境適正化委員会の協議へつなげる。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	食物アレルギー事故は生命に関わることで、どうしても達成しないといけない項目であり、達成されて良かった。アレルギー対応は児童一人一人の体質や生活を理解していくことにつながる。児童生徒の理解が、学校教育課が目指す未来大館市民を育成することにもつながっている。給食施設の統廃合を学校教育環境適正化検討委員会にもつなげ、検討していくのは、良いことだと考える。

# 重点施策点検・評価表

2-1-2

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。		担当課(館)
	③ いじめ・不登校対策事業		教育研究所
	活動内容	いじめ防止基本法を浸透させる取り組み、いじめ・不登校調査の実施、関係機関との連携により、未然防止と早期対応をする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 「いじめ防止基本法」は、平成29年4月に見直しを図り、市の指導の重点に掲載するとともに、各校も修正の上、経営計画に掲載するよう指示した。 市では年3回のいじめ調査を実施し、すべてのケースについて学校から聞き取り、対応状況を把握している。必要に応じて、指導主事が指導助言に出向いている。 不登校については、増加傾向にあり、平成29年度末で小中学校合わせて、87名いる。おおよそ教室やスペースイオの活用も進んでいるが、早期対応がうまくいっていない。 日頃からスクールカウンセラーや少年相談センター、福祉部子ども課、北教育事務所のスクールソーシャルワーカーを活用し、必要に応じて警察にも入ってもらい、ケース会議を開催している。市教委と学校と関係機関が情報共有をする会が定期的に開かれている。	
	課題等	不登校の全体数の増加、小学校の不登校が倍増している現状から、早期対応の意識を徹底していく。 平成30年度は、臨床心理士が配置されることから、関係機関と連携を更に進めながら、個々の事例に関わる体制にしたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	いじめ・不登校対策は難しい。目標をやや下回るという評価は、今以上に頑張らなければという意識の表れであると受け止められる。 年3回のいじめ調査実施は大変良いことで、数字を把握し様々なケースについて聞き取り把握しており、実際のケースに沿って指導を考えていることが伝わってくる。		
1	④ 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進		学校教育課 教育研究所
	活動内容	子ども課やスクールカウンセラーとの連携により、障害のある子どもへの合理的配慮、基礎的環境整備を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 就学指導委員会を教育支援委員会に改称し、特別支援学級への審査だけでなく、現状の確認や必要とする支援についても丁寧に協議した。 特別支援教育に関する関係機関が、情報共有と支援の分担をするインクルネットを月1回開催しており、連携した支援もできている。特別支援教育支援員の名称も教育支援員とし、市財源で50名を配置した。就学教育相談は子ども課と共催して年4回実施するほか、随時、スクールカウンセラーや就学支援員が保護者の相談に応じる体制も定着している。 平成29年度末で、適正就学が進み、特別支援学級、特別支援学校への入学や転学がこれまでより多くなった。	
	課題等	適正就学が進むことで、特別支援学級の人数が増えたり、支援学級が増加したりし、専門性のある指導に困難を抱える学校も出てきている。 通級指導教室のニーズも高まっているが、実際に受け入れる人数が限られており十分ではない。平成30年度は、専門性のある教職員を養成するための県や国の事業を活用して、長期的に育成する計画である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	教育支援員を市の予算で50名配置したことはすごいことである。名称を教育支援員としたことも大事なこと。入学者が増えていることは、理解しその場所を求めて増えていることで、このような積み重ねが子ども一人一人の未来を育て、大館市民を育むことになる。専門性のある職員の養成は難しいことの一つであるが、障害への理解を促進させて、有効に活用できるようにしてほしい。	

# 重点施策点検・評価表

2-2

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開
重点施策	
2	学校を核として、各地域にスクール・コミュニティーの形成を図る。
	担当課(館)
	学校教育課 教育研究所
①	ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開
活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援する体制を構築する。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>県教育委員会の「起業体験推進事業」を4小・中学校が実施し、小学校は6次産業化に取り組み、地域イベントで販売をした。 中学生は起業家精神を学ぶ講演会や親子ふるさとキャリア教育セミナーを開催するなどして、それぞれに成果を得るとともに、モデル市として他市町村にも実践を周知する役割が果たせた。 下川沿地区は、小中学校、公民館、地域が連携して様々な活動に取り組み、文科省・経産省から「キャリア教育連携推進表彰」をいただいた。</p>
課題等	<p>チャレンジ授業賞として、田代学区のタケノコ和紙の活用、成章学区の地域防災活動を表彰した。これらは、県でも発表し高い評価を得ている。道徳の教科化に向けて、ふるさと単元の開発を小中学校へ働き掛ける。</p> <p>取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	幼保から大学までの縦軸が大館では存在していて、企業、地域が横軸となって大館ふるさとキャリア教育が支えられている。上欄に例示されている下川沿中学校は1学年20人ほどの学校でこのような評価を得ている。大きな学校は、内蔵している大きな良さを生かす可能性の発揚が期待できる。たくさんの表彰は、地域や企業からの支援に応えた輝かしい結果である。ますます充実した活動の展開を期待している。
②	学校評価の充実による学校運営の改善と情報の積極的な提供
	学校教育課
活動内容	校長会と連携し、大館市が目指すふるさとキャリア教育の方向と合致したものにする。人事評価との連動により、職員の経営参画意識を高め、学校経営の充実につなげる。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>年2回の校長と教育面接において、ふるさとキャリア教育を根幹に据えた学校経営の構想・評価を聞き取りした。 学校関係者評価が全小中学校とも年2回、適切に実施され、その結果は、各校のホームページに前期と後期に公表している。</p>
課題等	<p>全小中学校に定着しており、確実に実行されていることから、次年度も継続していく。</p> <p>取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>
学識経験者等の意見	校長会と教育委員会が一体の組織のように連携していることがよく分かる。評価結果をホームページで情報開示することは、保護者を納得させる大きな要因となる。第3者の評価がなされているということは、保護者の支援を得る上でも大変良いことである。

# 重点施策点検・評価表

2-3

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開		
重点施策			
3	「おおだて型学力」の向上を目指し、実践的指導力を養成する教職員研修を実施する。		担当課(館)
	① 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を鍛えるための授業改善		学校教育課 教育研究所
	活動内容	授業改善に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言を行う。また、教育専門監、授業マイスター、コア・ティーチャーを活用した師範授業の提供、教育研究所による若年教員への授業支援などの取組を一層進める。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) おおだて型学力については、各協議会や学校訪問を通じて全教職員に説明。市教研では、授業改善の3つの視点を指導案に明示する提案をし、各校が取り組んだ。 1月の教職員実践発表会では、先進的な実践を教職員間で共有することができた。採用2~9年目の教員を対象に、授業マイスターや教育専門監の授業を参観して協議する「授業力向上支援研修会」を新規に立ち上げ、年15回開催し、100名弱の若手教員が参加した。	
	課題等	全教職員の授業力向上に向けて、学力向上フォーラムをよい機会として、本市が目指す「共感的・協働的な学び合い」を確立するよう指導・支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	各協議会や学校訪問を通じて全職員の共通理解ができている。その上で、おおだて型学力について授業力のある先生の協力を得て、実際の授業を参観しながら研修することができ、それが大館の教職員の実践力を培って強固なものにしている。	
	② 幼保小中高大のさらなる連携及び地域社会、産業界との連携の推進		学校教育課 教育研究所
	活動内容	現在行っている教育懇談会を充実させ、縦の一貫性をより強める。子どもハローワーク等で、職場体験、地域ボランティア、地域行事への参加を推進し、「学社融合」をより促進することにより、地域を活性化する新たなエネルギーを生み出す。「人間的基礎力」を確かに身に付けるため、就学前教育と小学校低学年の連携を強化し、系統的に育成する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育懇談会の協議により、大館桂桜高校や秋田看護福祉大学の授業参観を実施し、ふるさとキャリア教育における連携を確認した。 文科省・県教委委託事業を活用して、おおだて型学力の「人間的基礎力」の育成を担う就学前教育の充実に向けた体制構築を研究した。(~H30) 事業を活用して、幼児教育アドバイザーと連携アドバイザーを配置し、幼保小連携のためのリーフレットを作成し、全県のモデルとなる指導体制を確立させた。	
	課題等	10月に育ちと学び支援事業フォーラムを本市開催の予定である。全国から400名の参加を見込んでおり、本市の幼児教育の充実に向けた体制を発信していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大館は大学まであり、産業界も協力してくれる素晴らしい環境にある。その環境を生かしながら、推進して成果をあげていることを評価したい。それが、子どもたちの向上力や先生方の自信と意欲につながっている。		

# 重点施策点検・評価表

2-4

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開
重点施策	
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する
	担当課(館)
	① 未来大館市民としての資質能力を育成するための体制を構築する
	学校教育課 教育研究所
活動内容	小学校は平成32年度、中学校は平成33年度の完全実施を目指し、英語教育、道徳、プログラミング教育等に対応するため、関係機関と連携した推進体制を構築したり、カリキュラムの作成や教職員の研修を実施したりする。また、ふるさとキャリア教育の新たな視点として経済教育を導入するための準備を進める。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 英語教育は、県教委の拠点校事業を受託し、東中・有浦小が公開研究会を開催した。小学校外国語活動は、英語教育推進アドバイザーの雇用により、カリキュラム開発、教材開発、「ハチクン イングリッシュソングズ」の制作、教員研修を実施することができた。経済教育は、各校1名の推進リーダーに研修会を5回開催し、自校での試行の授業を始めることができた。
課題等	プログラミング教育の導入に向けて検討するため、中学校3校の文化部にドローンとロボットを各2台ずつ導入する。 課題等を整理し、市内にどのように導入するかを協議し、新学習指導要領実施に間に合わせていく。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	新聞で城西小学校の三浦校長のイングリッシュソング制作の記事を見たが、大館の抱えている人財を教育の推進に有効に活用している。英語教育は今までの活動レベルから教育レベルへ変わり、今が大事な時期。次期学習指導要領に向け、スタートダッシュがうまくいくよういろいろな角度から新しい指導要領に対応してほしい。
	② 安心・安全で、児童生徒の個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備
	学校教育課 教育研究所
活動内容	第2次学校教育環境適正化委員会を立ち上げ、統合について基本方針を検討する。(学校の施設設備、教材、校務システム)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 第2次学校教育環境適正化計画は、委員会を立ち上げ、年度内の2回開催して、統廃合だけではなく、20年後の大館の教育を想定して、学校のあり方や学校施設の検討をするという趣旨を委員に理解してもらった。
課題等	平成30年度の委員会によって、提言を作成する予定である。座長である弘前大学教育学部の北原教授は、市のまちづくりの計画の座長もしていることから、地域コミュニティの核となる学校のあり方と連動した提言となるように、他課とも連携して進めていく。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	住民の理解を得るのは難しいこともある。20年後の大館の教育を想定して、市のまちづくりとリンクしながら進めることで利点がありそうである。まちづくりの中核になるのが学校であることを念頭に進めてほしい。数合わせだけでは失敗する。文化の中心、まちづくり・地域づくりの中心が学校という考え方で進めてほしい。難しい項目ではあるが、住民の理解を図りながら進めることが望まれる。

# 重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める		担当課(館)
	① 達人講座の実施		生涯学習課
	活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、16講座を実施する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		目標どおり、16講座を実施することができた。	
	課題等	講座数が年々減りつつあるため、人財名簿等から希望者を募り講座数を増やしていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	申込者が来なかった講座があったことから、メニューの入れ替えを行ったことは評価できる。人数の多寡にこだわらず引き続き頑張って継続してやっていただきたい。	
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場で活用を促す環境の整備を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	新規人財登録は3件増だが11件の取り消しがあった。		
課題等	人財名簿登録者の高齢化による名簿取り消しが相次いでおり、登録者は年々減少してきている。平成30年度より人財名簿設置要綱を作成、名簿のレイアウトや利用方法を一新し、使いやすい名簿にすることで、登録件数増加及び講座開講を促していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	要綱を作成し名簿のレイアウトなどを一新したおかげで、分かりやすかつ確認がしやすくなった。また、2年に1回の更新をするようにしたのは、とてもいいアイデアであり、引き受ける講師もやりがいを感じると思われる。引き続き頑張って継続していただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標				
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援			
重点施策				
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める		担当課(館)	
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用		生涯学習課	
	活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(48講座)」を実施する。		
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)		
		平成29年度は、118件10,493人が受講し、昨年度より1件減、3,555人の増加となった。昨年度から開講したワンだふるはちくんダンス講座に加え、特別メニューはちくんあいさつ運動の希望者が多く、大幅増加の要因となった。		
	課題等	引き続き市民の学習活動を支援するべく継続させていきたい。		
		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
	学識経験者等の意見	はちくんダンスの普及にあたっては、市長や教育長が自ら市民の前で披露していて、とても効果的だと感心している。市のリーダーの姿勢を市民が見て理解しているからこそ、はちくんダンスやあいさつ運動への申し込みが来ているのだと思う。引き続き頑張してほしい。		
	④ 公民館事業への青少年の参加促進			中央公民館
		活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業を総括し改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。	
点検評価		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)		
		小学校が対象の「わんぱくスクール(高学年)」、「新春書初め交流会(全学年)」、小中学生を対象とする「夏休み将棋教室、囲碁教室」、高校生が対象の「HACHI」のほか、今年度は将棋連盟との共催で小中学生、一般を対象とした「冬休み将棋教室」を実施した。		
課題等		将棋の人気の高いことから、将棋教室は夏休み、冬休みの年2回開催の予定。 また、わんぱくスクールの参加者から中学生になってもわんぱくスクールに来たいとの声があったことから、これまでスクールを指導してもらった講師の方々のアドバイスを受けながら中学生まで対象を拡げるか検討していく。		
		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見	わんぱくスクールの活動を文集として残すことは大変よいことだ。子どもたちの活動の記念になり、将来の宝物になると思うので、ぜひ継続していただきたい。			

# 重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	① 学校支援活動事業の推進		生涯学習課
	活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々をボランティアとして派遣するなど、地域の教育力を学校教育へ活用するものであり、より効果的な学校運営を支援するとともに、地域ぐるみで子どもをはぐくむ環境の整備を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		地域の方々による学習活動や事業イベントのサポートなど、子どもたちと地域のつながりを深めることで、地域ぐるみで子どもたちの成長を支えるとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動に努めた。 また、地域コーディネーターや担当職員が秋田県の学校・家庭・地域連携協議会、全県交流会、県北地区の研修会に参加することで他市町村の取り組みを学ぶ機会とし、市内コーディネーター連携会議では学校間での連携強化を図った。	
	課題等	各校の取り組み・事業におけるコーディネーター業務を円滑に行えるよう、社会教育法の改正を踏まえ、地域コーディネーターの「委嘱」について進める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	他の地域との比較ができることから、一堂に会して情報交換ができたことは非常に良いアイデア。ぜひ継続していただきたい。	
	② 家庭教育の充実		生涯学習課
	活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	昨年度から継続している「おしゃべりひろばひだまり」を前期・後期併せて12回実施。今年度はこれまでになかった新たなメニュー(神社の斎場を借りてのヨガ、男性向けの料理教室)を行うことができ、特に前者は参加者に好評。「子育て講座」については、事前調査では40カ所からの希望が寄せられたものの、実際の申請は36カ所に留まった。 昨年度から開始した「家庭教育支援チーム推進事業」では、生涯学習フェスティバル・きりたんぼまつりの両イベントへ木育ひろばを出展。各々約290名、約1,030名の親子が訪れた。2月には「東京おもちゃ美術館」より同館にてディレクターを務める岡田哲也氏を招き研修会を実施した。		
課題等	昨年度課題としていた「おしゃべりひろばひだまり」の土日開催を実現したものの、参加者数を思うように伸ばすことが出来なかった。各地区公民館での開催については引き続き課題としていきたい。また、市民への周知(周知の方法やアピールの仕方等)についてもこれまでのチラシ・ポスター配布のみではなくSNSの活用を取り入れることを検討する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	子育てに男性が必要とされている時代なので、男性向けの講座の開催は、参加しやすいよう日程に配慮をお願いしたい。男性向けの料理教室は、たとえ参加人数が少なかったとしても、非常に意義があることなので、引き続き実施していただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)
	③ 音楽療法士派遣事業	生涯学習課
	活動内容	継続事業として、小中学校からの派遣依頼を受け、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度は要請のあった市内の4小学校・1中学校の特別支援学級や、3保育園の自閉気味な子や発達が気になる子を対象に全24回の派遣を実施した。 派遣する音楽療法士と学校の先生が協力して音楽学習等の活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
	課題等	今年度から保育園からの要請も増えており、なるべく多くの学校等に派遣できるよう、音楽療法士の派遣スケジュールを調整・対応していく必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	以前、鹿角市で行っていた音楽療法を見たことがあり、音楽療法は子どもたちにとって、とても良い効果があると実感している。今後も福祉事務所との連携を図りながら、ぜひ継続していただきたい。
	④ 青少年健全育成活動の充実	生涯学習課
	活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 7月1日(土)の「青少年を非行から守る市民のつどい」では、約370人が参集し、大館曲げわっぱ太鼓オープニング公演による桂城公園の集会をはじめ、スクールバンドによる街頭パレード、中央公民館での防犯文集朗読発表など、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。
	課題等	インターネットの活用能力が求められる社会の中、サイバー犯罪の被害は拡大しているため、子どもたちがインターネットを正しく使えるよう、家庭内でのルール化・セーフティ機能の必要性を周知していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	パレードのコースは、昔と比べ人通りがだいぶ少なくなっていて、寂しい限りであるが、青少年の健全育成のため、引き続き頑張って継続していただきたい。	

# 重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑤ 少年相談センターの活動の充実		生涯学習課
	活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	年々、相談件数は増加傾向にあり、ここ数年では年間100件以上が常態化している。また、相談内容も青少年問題に限らず親世代のトラブルや貧困問題など、多岐にわたるケースもあり、相談対応者への負担が懸念される。	
	学識経験者等の意見	現所長は、県の教育庁で教育に関わるすべての事柄を経験したうってつけの人材であり、勝る人はいないと思う。体調を崩すなどのことがない限り、ぜひ現所長に継続して引き受けていただきたい。コンビニ訪問は、こちらの姿勢を知ってもらい、何か起きる前に積極的に関わったという意味で評価は高い。	
	⑥ 関係機関への支援		生涯学習課
	活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなっている団体もある。連絡・連携を密にして、後継者の育成や各活動における行政のサポートが必要である。	
学識経験者等の意見	シンポジウムを開催することで、会員がやりがいを感じるのだと思う。資料は貴重なものとなるはずなので、引き続き継続して行っていただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑦ 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 北教育事務所主催の学校訪問や教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会への参加を通じ、各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認。各種会合等でふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動、市民版ふるさとキャリア教育の推進につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な意見・提言を行った。	
	課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に、社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	教職関係者とは違った視点を持つ社会教育委員の学校訪問は、大変良い試み。実際の現場を見ることは大事だと思う。学校をベースに地域を高めていくためにも、学校訪問は、ぜひ継続していただきたい。	
	⑧ 生涯学習推進体制の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 生涯学習推進協議会については、6月に幹事会(書面協議)、7月31日に協議会を開催。平成29年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。 また、生涯学習奨励員については、個人活動のほか、総会・自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加・協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区総会・北鹿地区研修会への参加などの活動を行った。	
	課題等	生涯学習奨励員について、会議・研修会等への参加者に偏りが見受けられるため、より多くの奨励員が参加できるよう日程等について配慮を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	教育委員会や担当の生涯学習課のみが関わるのではなく、市長部局を巻き込んだ全庁的な取り組みをしていくことが必要。6月に行われる幹事会を含め、できるだけ他の多くの職員が関わるようにしてほしい。係長クラスの作業部会を開催することも効果的なのではないか。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実		中央公民館
	活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させる。各地区館の高齢者学級を充実させるため、会員に意見を聞き、環境を整える。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		中央公民館をはじめ、各地区公民館とも高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などで、発表の場を設けている。 また、各地区のサークル活動でも高齢者が活躍する機会が多い。中央公民館での書初め交流会では、老壮大学の書道サークルが子どもの指導をしているほか、地区公民館でも子どもとの世代間交流事業を行っている。	
	課題等	中央公民館の老壮大学、地区公民館の高齢者学級ともに、参加者が減少傾向にある。特にここ数年は60歳を過ぎても働いている方が多く新規の参加者が少ないため、加入を促進していく必要がある。 なお、現に参加されている方々は、作品展や世代間交流などにも積極的であるため、新たな活躍の場をどのように設けるかが課題である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	高齢者が増えているにも関わらず老壮大学の参加者が減っているのは、現役年齢が高くなっているからと思う。書初め会や将棋教室など子どもたちに指導しながら世代交流を行っていることは(高齢者の)生きがいにもなり、とてもよいと思う。ぜひ継続していただきたい。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見			

# 重点施策点検・評価表

3-3

推進目標																							
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援																						
重点施策																							
3	<table border="1"> <tr> <td>高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する</td> <td>担当課(館)</td> </tr> <tr> <td>① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施</td> <td>中央公民館</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td>高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。国の支援事業から離れ市単独の事業となった「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、地元の大学ともタイアップした事業を企画・立案し進めていく。参加者へ活動が支障なく引き継げるよう高校の行事や試験日程等にも配慮する。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)                      「高校生まちづくり会議HACHI」では、昨年に引き続き渋谷・大館グリーンツーリズムで子どもたちの引率等に協力したり、開催3年目となるハロウィンパーティーのほか、今年度はボンドガールとコラボしたクリスマスパーティーも開催した。                      また、これまでの活動事例を紹介してほしいと他団体の主催事業に4回招かれるなど、充実した活動が行えた。一方、秋田看護福祉大とのタイアップは、窓口となっていた准教授が退職され、同校の学生の参加は実施できていない。                 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td>                     「HACHI」の今年度の新規メンバーが2名だけで、来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、現在のメンバーは国際情報学院高校の生徒のみのため、大館桂桜高校の生徒にも加わってもらえるよう、高校側に依頼していく。                      秋田看護福祉大との連携は、ボランティアについて行事を特定し、大学宛てに派遣をお願いするようにしていく。                 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>「HACHI」の活動には期待されるところが大きい。3年生が引退した後も新規参加者の確保に努め活動を発展させていってほしい。できれば複数の学校から参加できればとても良いと思う。秋田看護福祉大との連携事業も継続していただきたい。</td> </tr> <tr> <td>② ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td>被災地での活動を継続することにより、高校生や大学生の地域貢献の意欲向上につなげ、地元での活動の充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)                      国の委託事業「都市と農山漁村の教育交流事業」として今年度は3回実施。ふるさとキャリア教育と家庭教育支援等の大館の教育「元気ツール」を活用し、気仙沼市の子どもや地域の元気づくりを応援するとともに、参加した中学生・高校生・大学生が体験活動を通して交流を行い、大館の参加者の地域貢献活動の意欲向上、家庭教育支援チームや子育てサポーターの資質向上と、ふるさと大館への愛着心を高めることができた。                 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td>                     平成24年度から実施してきた当事業について、補助事業終了に合わせ、次年度をひとつの区切りと位置付け、地元大学を会場とした成果報告会を実施し、大館の「元気づくり」活動を一般市民や事業参加者が再認識・再発見する機会を設ける。                 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>参加者にとってはとても良い体験だったと思う。補助事業が切れることで事業が実施できなくなるのは残念ではあるが、やむを得ないと思う。</td> </tr> </table>	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課(館)	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館	活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。国の支援事業から離れ市単独の事業となった「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、地元の大学ともタイアップした事業を企画・立案し進めていく。参加者へ活動が支障なく引き継げるよう高校の行事や試験日程等にも配慮する。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 「高校生まちづくり会議HACHI」では、昨年に引き続き渋谷・大館グリーンツーリズムで子どもたちの引率等に協力したり、開催3年目となるハロウィンパーティーのほか、今年度はボンドガールとコラボしたクリスマスパーティーも開催した。 また、これまでの活動事例を紹介してほしいと他団体の主催事業に4回招かれるなど、充実した活動が行えた。一方、秋田看護福祉大とのタイアップは、窓口となっていた准教授が退職され、同校の学生の参加は実施できていない。	課題等	「HACHI」の今年度の新規メンバーが2名だけで、来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、現在のメンバーは国際情報学院高校の生徒のみのため、大館桂桜高校の生徒にも加わってもらえるよう、高校側に依頼していく。 秋田看護福祉大との連携は、ボランティアについて行事を特定し、大学宛てに派遣をお願いするようにしていく。	学識経験者等の意見	「HACHI」の活動には期待されるところが大きい。3年生が引退した後も新規参加者の確保に努め活動を発展させていってほしい。できれば複数の学校から参加できればとても良いと思う。秋田看護福祉大との連携事業も継続していただきたい。	② ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施	生涯学習課	活動内容	被災地での活動を継続することにより、高校生や大学生の地域貢献の意欲向上につなげ、地元での活動の充実を図る。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 国の委託事業「都市と農山漁村の教育交流事業」として今年度は3回実施。ふるさとキャリア教育と家庭教育支援等の大館の教育「元気ツール」を活用し、気仙沼市の子どもや地域の元気づくりを応援するとともに、参加した中学生・高校生・大学生が体験活動を通して交流を行い、大館の参加者の地域貢献活動の意欲向上、家庭教育支援チームや子育てサポーターの資質向上と、ふるさと大館への愛着心を高めることができた。	課題等	平成24年度から実施してきた当事業について、補助事業終了に合わせ、次年度をひとつの区切りと位置付け、地元大学を会場とした成果報告会を実施し、大館の「元気づくり」活動を一般市民や事業参加者が再認識・再発見する機会を設ける。	学識経験者等の意見	参加者にとってはとても良い体験だったと思う。補助事業が切れることで事業が実施できなくなるのは残念ではあるが、やむを得ないと思う。
高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課(館)																						
① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館																						
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。国の支援事業から離れ市単独の事業となった「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、地元の大学ともタイアップした事業を企画・立案し進めていく。参加者へ活動が支障なく引き継げるよう高校の行事や試験日程等にも配慮する。																						
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 「高校生まちづくり会議HACHI」では、昨年に引き続き渋谷・大館グリーンツーリズムで子どもたちの引率等に協力したり、開催3年目となるハロウィンパーティーのほか、今年度はボンドガールとコラボしたクリスマスパーティーも開催した。 また、これまでの活動事例を紹介してほしいと他団体の主催事業に4回招かれるなど、充実した活動が行えた。一方、秋田看護福祉大とのタイアップは、窓口となっていた准教授が退職され、同校の学生の参加は実施できていない。																						
課題等	「HACHI」の今年度の新規メンバーが2名だけで、来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、現在のメンバーは国際情報学院高校の生徒のみのため、大館桂桜高校の生徒にも加わってもらえるよう、高校側に依頼していく。 秋田看護福祉大との連携は、ボランティアについて行事を特定し、大学宛てに派遣をお願いするようにしていく。																						
学識経験者等の意見	「HACHI」の活動には期待されるところが大きい。3年生が引退した後も新規参加者の確保に努め活動を発展させていってほしい。できれば複数の学校から参加できればとても良いと思う。秋田看護福祉大との連携事業も継続していただきたい。																						
② ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施	生涯学習課																						
活動内容	被災地での活動を継続することにより、高校生や大学生の地域貢献の意欲向上につなげ、地元での活動の充実を図る。																						
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 国の委託事業「都市と農山漁村の教育交流事業」として今年度は3回実施。ふるさとキャリア教育と家庭教育支援等の大館の教育「元気ツール」を活用し、気仙沼市の子どもや地域の元気づくりを応援するとともに、参加した中学生・高校生・大学生が体験活動を通して交流を行い、大館の参加者の地域貢献活動の意欲向上、家庭教育支援チームや子育てサポーターの資質向上と、ふるさと大館への愛着心を高めることができた。																						
課題等	平成24年度から実施してきた当事業について、補助事業終了に合わせ、次年度をひとつの区切りと位置付け、地元大学を会場とした成果報告会を実施し、大館の「元気づくり」活動を一般市民や事業参加者が再認識・再発見する機会を設ける。																						
学識経験者等の意見	参加者にとってはとても良い体験だったと思う。補助事業が切れることで事業が実施できなくなるのは残念ではあるが、やむを得ないと思う。																						

# 重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施		生涯学習課
	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		9月・10月を生涯学習推進月間とし、栗盛記念図書館や勤労青少年ホームなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は12,105人となった。 また、中央公民館会場では、9月23日・24日の2日間にかけて中央公民館サークル協議会や大館桂桜高校、大館市発明協会のほか多くの団体等から協力を得て、各種展示・発表会の開催や体験ブースを設けることで、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。	
	課題等	生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぼまつり、駅-ONEなど各種イベント・行事が非常に多く、日程の重複を完全に避けることが難しい。なるべく同種のイベントと重複しないように、平成30年度は9月23日・24日をメイン開催日として開催を予定する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	フェスティバルの実施にあたっては、地元大学に対し積極的な参加を促して欲しい。また、主会場の中央公民館や文化会館の駐車場が狭いので、日程に配慮をしていただきたい。	
	② 「大学公開講座」の実施		生涯学習課
	活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
第23回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月4~6日の日程で開催し、大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。 また、今年度は高齢者介護をテーマに取り上げたことにより、一般市民や学生のほか、介護職の参加者が多く見受けられた。			
課題等	大学側には、毎年、テーマ設定や講師の選定で骨を折っていただいているが、健康、医療、福祉、ボランティア活動など、市民のニーズに沿ったテーマを選定し継続して開催することが必要である。 また、学生を含めより多くの市民の参加が得られるように、周知の仕方に関しても、市や大学のホームページに掲載するほか、テーマに沿った職種、各団体にチラシ等を配布するなど、さらなる工夫が必要である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	大学との連携を図ることは、知の拠点である大学が社会貢献を行うことであり、大学のPRにもつながると考えられるため、連携の強化を目指して欲しい。		

# 重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	③ 地域活動団体への支援		生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 補助金は、事業費の一部ではあるが、市の予算の範囲内で、申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫し、衰退しないように努力している。	
	課題等	今後も、市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動の支援をする。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	シニアファッションショーは、素晴らしい企画。今後も各団体の応援をしていただきたい。	
	④ 地区住民や関係団体との連携強化		中央公民館
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 地区公民館では、運動会やスポーツ大会などで地域の協議会や地元の婦人会などと協力して事業を行っているほか、公民館の事業内容にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署、危機管理課の出前講座を活用した防災講座に地域ぐるみで取り組むなどして連携を図っている。	
	課題等	地域活動に公民館が協力することはもちろんのこと、他にも自然災害が多発している昨今、地域住民の避難施設としての役割を担う場合もある。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができないため、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	避難所機能の充実を図るためには、公民館は地区住民と良好な関係でなければならない。(避難所開設の際)館長や職員は、先頭に立って指揮することになると思うが、たとえば避難住民の点呼など地域の人がやったほうが効率的な作業もある。(住民と)共助することが大事である。継続して取り組んでいただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化		中央公民館
	活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の環境整備及び地区の特色ある事業の支援を行う。地域内の施設や設備を、さらに積極的に活用されるような取り組みをする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		平成28年度の長木公民館の新築及び矢立公民館の移転改築で、地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。また、地区公民館それぞれに異なる環境整備の要望もあるため、地元の意見を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。	
	課題等	歴史まちづくり事業のなかでも、地域の行事や歴史のある建物にスポットが当てられてきているため、これらと公民館事業とをリンクさせるような取り組みも行っていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	所管施設が多く管理が大変だと思うが、地区住民が安全に利用できる施設でなければならない。分館などの老朽施設については、予算と計画を立てて頑張りたい。	
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進		中央公民館
	活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。特に高齢の参加者の場合、個人の体力等の差が年を追うごとに開きが大きくなる場合があるため、参加者同士が支え合う良い雰囲気をつくるように心掛ける。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
各事業の終了後のアンケートや、地区公民館事業では町内会や関係団体との会合で常に意見を出してもらおうようにしており、参加者の考えをできるだけ反映するように努めている。今後もそれらを生かして事業を展開していく。			
課題等	事業内容がマンネリ化しないように、NPOや出前講座の利用、他自治体の事例を参考にしながら、事業を充実させるとともに、新規講座の構想を練っていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	各公民館で実施している特色ある事業は、継続して欲しい。参加者の減少は否めないが、魅力あるメニューを工夫して参加者が「参加して良かった」と思える事業を継続して欲しい。		

# 重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施	生涯学習課
	活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度も各児童クラブごとに特色ある事業を展開し、直営全体でのスポーツ交流会やドッジボール大会も盛況に行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。また、支援員の情報交換やスキルアップを目的として毎月行われている定例会・研修会では、多彩なメニューで学習を積み重ね、児童の安全・安心な居場所づくりに努めた。
課題等	障害児等、支援を要する子どもについて、従事する支援員を適正配置できるように、協議しながら、事故・けがのないように努めていかなければならない。 また、次年度、有浦地区で定員を大きく超える加入希望者があり、対応について検討を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	子育てには必要不可欠な事業であり、継続していくことはもちろんではあるが、支援員が非常勤職員という不安定な身分であり、かつ、万一、事故が起こった際の責任体制にも不安が残るため、事業実施の在り方については、十分に検討していただきたい。	
	活動内容	0
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	

# 重点施策点検・評価表

3-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理		生涯学習課
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		定例打ち合わせを通じて、図書館運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進した。 また、4月、多目的室と駐車場の拡張分がオープンし、利便性が向上するとともに、増築と同時期に図書館敷地内に移築された松下村塾を活用した事業を行うことにより読書活動を推進した。なお、今年度は、第二期大館市読書活動推進計画の最終年度にあたり、第三期同計画を指定管理者の協力を得ながら策定した。	
	課題等	少子高齢化・人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービス・各種事業・情報発信を充実させ、さらに魅力ある、市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	指定管理制度を取り入れた効果が、図書購入費に表れている。引き続き、指定管理者と協議しながら図書館運営にあたっていただきたい。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見			

# 重点施策点検・評価表

3-6

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		担当課(館)
	① 芸術文化団体への支援		生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。	
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	会員にとって市の支援はありがたいことであり、伝統文化や伝統芸能に寄与していることから、今後も応援を続けていただきたい。	
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用		生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行い、平成30年度には3校での実施が採択されている。			
課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	本物の芸術に触れることは、子どもたちにとって非常に良い影響を及ぼすため、今後も継続していただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-7-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		担当課(館)
	① ニホンザリガニ生息地の緊急調査事業を行う		歴史文化課
	活動内容	天然記念物としてのニホンザリガニ生息地再生を目指し、ニホンザリガニの飼育と繁殖に取り組み、その技術習得に努める。あわせて多くの市民にニホンザリガニの存在を知ってもらえるようPR活動に努める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 生体の発見された付近に生息地を復元するための第一歩として、基本設計を作成することができた。 また、中央公民館と郷土博物館に水槽を設置して、本物のニホンザリガニを見ることができ環境を提供することができた。そのほかに水槽で繁殖の取り組みも行い、年度末時点で抱卵を確認している。円山動物園(札幌市)での繁殖例を参考に、今後は孵化、育成にも取り組むことになる。	
	課題等	生息地については、候補地がもう1カ所あるので、そちらの地権者と交渉しながら段階的に整備を進める必要がある。 孵化育成については、初めての取り組みなので、技術の確立を目指し、一步一步進めなければならない。PRについてはまだまだ不足なので、飼育展示の場所を学校に移すなど、工夫をしながら取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	個人所有地での再生事業は大変と感じるが、将来的に市有地化することを確認でき安心した。指定地でのザリガニ再生を鳳鳴高校と連携し、市民の応援を得ながら、少しずつでも進捗させてほしい。貴重な天然記念物の再生事業を長い年月をかけながら、守ってほしい。	
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理		歴史文化課
	活動内容	新庁舎建設に伴う予定地の発掘調査は、今年度から堀の部分に着手する。矢板を設置し、5~6mの深さまで調査することになるので安全管理が大切になる。 今年度の目標面積を700㎡に設定し、庁舎建設推進室をはじめ、関係部局と連携をとりながら埋蔵文化財の調査を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 今年度の目標面積は、精査の結果633㎡となり、11月末までに無事調査を終了することができた。 11月4日に開催した現地説明会には、約140名の見学者が訪れるなど関心の高さが伺えた。 業務の発注や管理では、土木課や庁舎建設部門と連携をとりながら調査を進めることができた。	
	課題等	後に庁舎建設が控えているため、下水道の切り回しや支障物の撤去など、発掘調査とは直接関わりのない業務が付随してくるため、多くの部署と連携しながら、業務を進める必要がある。 また、調査を終えて、新庁舎が建設されると、遺跡は破壊されてしまうため、文化財のデータを後に映像や模型などで再現できるような形で整える必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ボランティア作業員の募集などを検討してはどうか考えたが、時間制限のある中での作業と知り、一般市民への情報提供は、見学会に限られることを理解した。調査成果は、子どもたちや市民の目にいつでも触れられるように、新庁舎の一角に展示するなど考えてほしい。将来的には博物館とは別に資料館等を市役所近辺に設置できることを期待したい。		

# 重点施策点検・評価表

3-7-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する	担当課(館)	
	③ 歴史的風致維持向上計画の策定と国の認定に向けて支援を行う	歴史文化課	
	活動内容	昨年度認定をいただいた歴史的風致維持向上計画に関連した事業を文化庁等の補助事業を活用して取り組む民間組織として「実行委員会」を形成するとともに、その活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館神明社祭典奉納実行委員会、大館北秋建築士会、大館市郷土芸能保存協会、大館ばやし保存会の意向を受け、「文化遺産活用まちづくり実行委員会」を組織することができた。この実行委員会を主体に、文化庁の補助事業である文化遺産総合活用推進事業の補助申請をしたところ、年度末に採択を受けることができた。	
	課題等	次年度は、申請した事業計画を具体化することとなる。複数の団体で構成した実行委員会なので、それぞれが取り組む事業が順調に推移するよう、支援していく必要がある。また、事務手続きなどは市役所の財務に準拠する形で処理する必要がある。 今後は、市内各地から積極的に取り組む団体に呼び掛けて実行委員会に参加していただき、まちづくりの事業効果が拡大することを期待したい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	市民を巻き込んだ『歴まち事業』のスタート地点に立ったように感じる。さらに希望団体が増えるよう取り組んでほしい。補助金申請等の事務作業が、煩雑で尻込みしていると思うので、市民団体への後押しを積極的にしてほしい。	
	④ 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信	歴史文化課	
	活動内容	今年度は銀座清澄画廊コレクションの「戸嶋靖昌展」を開催する。また、県立博物館や埋蔵文化財センターをはじめ、外部団体の協力をお願いしながら特別展を開催する。同時にホームページを活用してイベントや展示の情報を発信するとともに、利用ガイドの導入により、小中学校でのさらなる活用を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 予定通り「戸嶋靖昌展」、「埋蔵文化財センター出張展示」等を開催することができた。おひなさま展では、滝川ふみさんのガラス作品展も併せて開催することができた。HPの更新回数が約40回、ツイッターは50件、フェイスブックは25件の発信を行い、最新の情報を伝える努力を続けている。また、長期研修で在籍した阿部教諭の取り組みにより、活用できる教材のHP掲載も行うことができた。	
	課題等	次年度は、前半に耐震補強工事が予定されており、この間メインの展示館が閉鎖となる。それ以外の展示スペースを開放し、一部特別展も計画しているが、入館者数は大幅に落ち込むことが想定される。それだけに、展示情報のみならず、博物館が持つ情報を効果的に発信することが求められる。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	今年度、耐震工事による来館者の減少が危惧されるが、企画展の計画や、ザリガニ情報・風穴情報の発信で集客を図ってほしい。		

# 重点施策点検・評価表

3-7-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する
	担当課(館)
	⑤ 秋田三鶏記念館の孵化事業の安定化
	歴史文化課
活動内容	入卵数の目標を受け入れ上限である600個に設定し、有精卵の70%を上回る孵化率を目標として、平成29年3月から6月まで実施する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 入卵の実績は、406個と目標の約68%にとどまったが、孵化率は有精卵の74.4%となった。この実績は、例年よりも1回多い、4回の入卵を実施した結果である。冬季のコンディションが鶏の飼育に影響したのか、持ち込まれる卵が少なかった。
課題等	持ち込まれる卵の数や、有精卵率は、孵化技術により影響されるものではなく、ここでの実績は「有精卵」に対する孵化数に比重があると考え。しかしながら、比内鶏(85.8%)、金八鶏(75.5%)に比較して、声良鶏の孵化率が51.9%と著しく低い数値となっている。近隣の飼育数も減少傾向にあるため、県の試験場などと連携しながら対策を考える必要がある。
学識経験者等の意見	受入卵数が減少している。近隣市町村との連携や、県との連携を視野に入れて取り組んでほしい。関係団体の高齢化など問題も山積しているようだが、全国の愛好家との連携も考えて頑張してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 長走風穴館の改修及び展示内容の充実に努める。
	歴史文化課
活動内容	観光庁の補助事業を活用し、長走風穴館の建物を改修するとともに、展示内容を大幅に改良し、訪日外国人旅行者の利便性を高める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 訪日外国人をターゲットとした施設の改修や展示改修などを順調に終了することができた。多言語対応の展示ボードや大画面のプロジェクター、国道に面した温度表示など、予定どおり整備をすることができた。
課題等	今後は、訪日外国人に対する情報発信を積極的に行い、一定数以上の外国人を大館市に、風穴館に呼び込む取り組みが必要となる。比較すべき過去の実績数値は無いが、来館いただいた訪日外国人旅行者からのリアクションなどを大事にして、結果に結び付けたい。
学識経験者等の意見	外国人と会う機会が、増えていると感じている。3D連携をアピールして、さらなる交流人口の増大を考えてください。
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

# 重点施策点検・評価表

4-1、4-2

基本目標																						
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充																					
重点施策																						
1	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する</td> <td>担当課(館)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">① スポーツ関係団体との連携・支援</td> <td>スポーツ振興課</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2">                     体育施設の指定管理者である体育協会、市内3地区の総合型スポーツクラブと連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。                      今年で5回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りに位置付け、推進する。また、各種大会等の開催にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが難しくなっている現状から、各競技団体との意見要望を踏まえ、支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。                 </td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td colspan="2">                     市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。                      また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。                 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td colspan="2">                     チャレンジデーを含めて、スポーツの習慣化へのきっかけ作りの推進は、健康寿命延伸の取り組みとして重要である。ひない及びたしろスポーツクラブの支援にあたり、各クラブの特徴・資源を生かしながら、自立に向けステップアップできるよう、継続した指導・助言をお願いする。                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>                     市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシーダ)はすでに自立し、活動も順調であるが、後発のひないスポーツクラブ及びたしろスポーツクラブについては、地域スポーツ活動の中核団体として活動しているものの、両スポーツクラブとも、会員の確保が進んでいない状況である。自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。                 </td> <td>                     取組の方向性  <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> 単年度                 </td> </tr> </table>	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する		担当課(館)	① スポーツ関係団体との連携・支援		スポーツ振興課	活動内容	体育施設の指定管理者である体育協会、市内3地区の総合型スポーツクラブと連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。 今年で5回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りに位置付け、推進する。また、各種大会等の開催にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが難しくなっている現状から、各競技団体との意見要望を踏まえ、支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		課題等	市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。 また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。		学識経験者等の意見	チャレンジデーを含めて、スポーツの習慣化へのきっかけ作りの推進は、健康寿命延伸の取り組みとして重要である。ひない及びたしろスポーツクラブの支援にあたり、各クラブの特徴・資源を生かしながら、自立に向けステップアップできるよう、継続した指導・助言をお願いする。			市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシーダ)はすでに自立し、活動も順調であるが、後発のひないスポーツクラブ及びたしろスポーツクラブについては、地域スポーツ活動の中核団体として活動しているものの、両スポーツクラブとも、会員の確保が進んでいない状況である。自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する		担当課(館)																				
① スポーツ関係団体との連携・支援		スポーツ振興課																				
活動内容	体育施設の指定管理者である体育協会、市内3地区の総合型スポーツクラブと連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。 今年で5回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りに位置付け、推進する。また、各種大会等の開催にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが難しくなっている現状から、各競技団体との意見要望を踏まえ、支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。																					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																					
課題等	市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。 また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。																					
学識経験者等の意見	チャレンジデーを含めて、スポーツの習慣化へのきっかけ作りの推進は、健康寿命延伸の取り組みとして重要である。ひない及びたしろスポーツクラブの支援にあたり、各クラブの特徴・資源を生かしながら、自立に向けステップアップできるよう、継続した指導・助言をお願いする。																					
	市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシーダ)はすでに自立し、活動も順調であるが、後発のひないスポーツクラブ及びたしろスポーツクラブについては、地域スポーツ活動の中核団体として活動しているものの、両スポーツクラブとも、会員の確保が進んでいない状況である。自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																				
2	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める</td> <td>担当課(館)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成</td> <td>スポーツ振興課</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2">                     スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が大きな課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支援しているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。                 </td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)                 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td colspan="2">                     社会体育化5年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、長期的な指導者の育成、定着を図っていく必要がある。                 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td colspan="2">                     現状、多くのスポーツ少年団が指導者イコール保護者で運営されている。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、指導の継続性が子どもたちの成長に有用であることを訴えて、今後も長期的な展望をもって指導者の育成に取り組んでもらいたい。                 </td> </tr> </table>	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		担当課(館)	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成		スポーツ振興課	活動内容	スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が大きな課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支援しているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		課題等	社会体育化5年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、長期的な指導者の育成、定着を図っていく必要がある。		学識経験者等の意見	現状、多くのスポーツ少年団が指導者イコール保護者で運営されている。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、指導の継続性が子どもたちの成長に有用であることを訴えて、今後も長期的な展望をもって指導者の育成に取り組んでもらいたい。				
スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		担当課(館)																				
① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成		スポーツ振興課																				
活動内容	スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が大きな課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支援しているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。																					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																					
課題等	社会体育化5年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、長期的な指導者の育成、定着を図っていく必要がある。																					
学識経験者等の意見	現状、多くのスポーツ少年団が指導者イコール保護者で運営されている。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、指導の継続性が子どもたちの成長に有用であることを訴えて、今後も長期的な展望をもって指導者の育成に取り組んでもらいたい。																					

# 重点施策点検・評価表

4-3、4-4

基本目標			
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
3	2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		担当課(館)
	① 2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進		スポーツ振興課
	活動内容	2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けて、県と連携し、タイ王国を相手国としたホストタウン事業を推進する。今年度、タイ王国を訪問し、事前合宿誘致活動を展開するほか、駐日大使館の視察招致などを実施、事前合宿の基本合意締結を目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成28年12月9日、タイ王国を対象とした東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録された。7月に教育長がタイスポーツ庁セミナーに参加し、各競技団体に事前合宿誘致に向けた市の特徴をPRしたほか、11月に市長がタイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会を訪問し、事前合宿の視察要請など招致活動を展開した。 また、パラリンピック関連の受入れ確認のため、日本ボッチャ協会関係者を招致し、競技及び宿泊施設の視察を実施した。 事前合宿誘致活動への理解、誘致に向けた市民の機運を盛り上げるため、「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」の協力を得て、「タイ王国ホストタウン向け異文化教室」を開催した。	
	課題等	タイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会との折衝窓口はできたものの、さらなる折衝が必要な状況である。 事前合宿誘致のみならず、交流計画に基づき、教育・文化・スポーツの相互交流事業の取り組みを推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	タイバレーボール協会及びタイパラリンピック委員会とコンタクトが取れたことは、活動が前進していると感じている。東京オリンピック・パラリンピック開催の機運醸成のため、市民を巻き込んだ事業を企画するとともに、事前合宿受け入れに向けた取り組みを進めていただきたい。		
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化の推進		スポーツ振興課
	活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。スポーツイベント誘致を促進するため、補助金制度を拡充する。また、合宿誘致では、継続して東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 東京都、北海道などで競技団体、大学、高校への誘致活動を行ったほか、市及び秋田県ホームページなどへの掲載、北海道・東北地区の大学などへのパンフレット送付等広報活動を実施した。また、他課からの紹介などの市内連携により、19団体、358人の利用があった。 また、スポーツイベントについては、4月の「バスケットBリーグ大館大会」(4,500人)、8月の「第44回東北総合体育大会(ミニ国体)」(7,450人)、12月の「ベースボールクリスマス2017 in秋田」(10,000人)が開催され、22,000人ほどの誘客が図られた。	
	課題等	合宿誘致については、平成28年利用団体の継続利用と新規利用団体の増加により順調に推移している。今後も、対外的なPRと並行し、地元スポーツ、文化団体にも情報提供し、情報を発信していただくことで更なる利用促進を図る。 スポーツイベントについても、体協及び各単協と連携を図りながら、引き続き誘致を進める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	合宿誘致について、市民の施設利用にも配慮しながら、推進していただきたい。また、誘致数の増加要因を掘り下げて分析し、今後の誘致活動のヒントとしてさらなる誘客に努めてもらいたい。		

# 重点施策点検・評価表

4-5、4-6

基本目標			
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する		担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進		スポーツ振興課
	活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し、スポーツ施設の相互の広域利用を推進する。近隣市町ならではの体育施設(ニプロハチ公ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長根山陸上競技場の2種公認更新に係るトラック改修工事による大会の開催地変更により、代替として北秋田市陸上競技場や鹿角市陸上競技場で大会が実施された。必要な備品等の貸し出しを行った。 12月にニプロハチ公ドームで開催された「ベースボールクリスマス2017in秋田」では、県有施設でのイベント開催の観点から、県北圏域でのイベント周知を働き掛けた。今後、プールやパークゴルフ場等相互利用の取り組みを検討する。	
	課題等	少子高齢化、人口減少により各自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進する。 大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し担当部署レベルでの協議を促進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	各単協と連携を図りながら、スポーツ交流に係る近隣市町の施設活用を意図的に進めていきたい。ネーミングライツが運用されている施設について、施設名称が浸透するよう周知に努めてネーミングライツ・パートナーの期待に添えるよう高めたい。		
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める		担当課(館)
	① 花岡総合スポーツ公園及び二ツ山総合公園子どもエリアの整備、老朽化体育施設の統廃合		スポーツ振興課
	活動内容	・広域的なスポーツ交流の拠点として、花岡総合スポーツ公園の整備計画を推進する。 ・二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地に水遊び場や総合遊具、トイレを設置するなど、子どもエリア(仮称)を総合的に整備する。 ・老朽化が進む体育施設について、統廃合を含めた整備計画を作成する。また、29年度2種公認検定を迎える長根山陸上競技場の公認継続への計画的な整備を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) ・花岡総合スポーツ公園において、旧大館工業高プールを改修整備し、7月16日より多目的プールとして利用開始した。また、多目的運動広場、多目的室内運動場についても、7月より利用開始した。 ・二ツ山総合公園幼児エリア整備事業において、造成及び建築実施設計、造成及び建築工事を実施した。30年度において、植栽等公園工事を行い、30年7月一部オープン(水遊び広場)に向け、事業を進捗させている。 ・長根山陸上競技場第2種公認継続事業について、29年度トラック改修工事を実施し、8月28~29日の検定を受検し、公認が更新された。(公認期間:5年間(H29.9.1~H34.8.31))	
	課題等	花岡総合スポーツ公園について、施設整備に向けて整備計画を策定する。 市民体育館、武道館など老朽化が進んでいる体育施設について、解体等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者の再配置を実施する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	廃止を計画している老朽化体育施設について、利用者の再配置が課題となるが、既存利用者のニーズに応えられるよう配慮に努められたい。 二ツ山総合公園幼児エリア整備について、子どもの目線で整備しようとする市の姿勢を評価したい。		